

令和7年度奈良市特定給食施設等研修会報告書

日 時	令和7年10月17日(金)12時50分～15時30分
場 所	奈良市保健所・教育総合センター(はぐくみセンター) 3階健康増進室
事業名	令和7年度奈良市特定給食施設等研修会
主 催	奈良市健康医療部保健所保健衛生課
目的	特定給食施設が、大規模災害等発生時に外部からの支援を待つことなく利用者への食事提供を継続することができるよう、特定給食施設の役割、平時からの備えと災害時の対応を理解する。自施設の現状を把握し、改善すべき点に気づくことができる。また、災害時においても重要な食品衛生について正しく理解し、平常時から適切な衛生管理を行うことができる。
目 標	①受講者が災害時の保健医療福祉の支援体制について理解し、その知識や情報を施設関係者に伝えることができる。 ②受講者が災害時における給食施設の役割を理解し、各施設において適切な災害対策を講じることができる。 ③平常時・災害時のどちらにおいても重要な食品衛生について理解を深め、日頃から適切な衛生管理に取り組むことができる。
対 象	奈良市に届出のある特定給食施設等の管理者、栄養管理担当者および調理従事者等
参加者	対面:33施設 34名 オンライン: 77施設 77名 合計:110施設 111名 ※オンライン参加者については当日の確認ができなかったため申込者数で記載 参加率:47% (詳細は参加施設内訳参照)
内 容	1 開会挨拶 奈良市保健所 所長 鈴村 滋生 2 「災害時の保健医療福祉の体制と給食施設ができること」 講師 青森県健康医療福祉部 部長 守川 義信 氏 3 「災害時における食中毒予防について」 講師 奈良市保健衛生課 食品衛生監視員 4 「事前アンケート結果報告」 管理栄養士実習生 5 「施設で活用してもらえる災害対策の啓発チラシについて」 管理栄養士実習生 7 質疑応答
評価及び 結果	I. 対象とする施設全体の参加率(目標:60%以上) 施設数でみると参加率 47%であり、目標の 60%以上が達成できなかった。事前アンケートの回答率は 50%で、対象施設の半数以上から回答があった。令和5年度、令和6年度と対面のみで実施していたが、令和7年度は開催方法を変更し、ハイブリッド形式(対面+オンライン)とした。しかし、参加率は思うように伸びなかった。開始時刻が早かったこともあり、栄養管理担当者や調理従事者は職場から離れにくかった可能性が考えられる。

	<p>また、研修会開始前に「マイクとカメラはオフに」と案内をして、研修会中にもチャットや休憩時間にマイクをオフにしてもらえるように案内を繰り返し行ったが、対応できていない施設があった。他の参加者や講義の妨げになっていたため、こちらで音声のオンオフを管理した方がよかったです。</p> <p>事後アンケート 回答率:69% (81名)</p> <p>※アンケート結果の詳細は別紙</p> <p>事後アンケート結果より、研修の目標は概ね達成できた。</p>
今後に について	<ul style="list-style-type: none"> ・講師に対する個別相談・質問がある場合は保健衛生課で聞き取り対応する。 ・研修に参加されなかった施設やフォローが必要な施設は個別指導時などに別途対応する。 ・今後の研修会については、今回の事後アンケートの結果より、オンラインもしくはハイブリッド形式での開催を主として考えていく。

参加施設内訳

施設種	対象施設数	参加施設数	参加率(%)
病院・診療所	26	14	54
介護老人保健施設	11	7	64
老人福祉施設	50	20	40
有料老人ホーム	32	14	44
障がい者福祉施設	21	14	67
保育園・こども園・幼稚園	71	31	44
児童福祉施設	3	2	67
私立学校・県立学校	7	2	29
事業所・その他 (介護医療院含む)	12	6	50
合計	233	110	47

参加率は四捨五入で算出。

その他施設に公立こども園・幼稚園・保育所所管課、公立学校所管課含む。